

平成27(2015)年4月に設置されたJAXAの新しい組織 宇宙探査イノベーションハブ

◆宇宙探査イノベーションハブとは？

「科学技術イノベーション総合戦略2014」～未来創造に向けたイノベーションの懸け橋～（平成26年6月24日閣議決定）という國の方針が示されました。この中で、公的研究機関の「強み」や地域の特性を生かして、イノベーションハブの形成に取り組むことが求められました。これを受け、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA)でも、様々な異分野の人材・知識を集めた組織を構築し、これまでにない新しい体制や取組でJAXA全体に研究の展開や定着を目指すため、平成27年4月1日に、「宇宙探査イノベーションハブ」が新しく設置されました。相模原キャンパス内に場所を構え、約30人（併任等含む）で新しい活動に取り組んでいます。

イノベーションやハブという言葉には、どういう意味があるのでしょうか？ということをよく聞かれます。

「イノベーション」は、新しい発想から、従来にない価値を導き出し、社会を大きく発展させるようなことを意味します。インターネットや携帯電話の登場と利用が、代表的な例です。それらが無かった時代に比べると、人々の生活は大きく変化し、豊かになりました。また、1960～1970年代の人々を月に送りこんだアポロ計画によって、様々なイノベーションが導かれたことも知られています。一方、「ハブ」は、ものごとの中心部分を意味しており、拠点と訳されることもあります。例えば、国内や外国からの飛行機が多く集まる東京国際空港（羽田空港）や成田国際空港は、「ハブ空港／拠点空港」と呼ばれています。

「イノベーションハブ」は、革新的なアイデアや技術によって生活を豊かにする改革である「イノベーション」を起こすための、人や技術が集まる中心拠点である「ハブ」という意味合いがあります。

◆何をするの？

宇宙探査イノベーションハブの目的は、新しい考え方の導入による宇宙探査の発展、将来の宇宙開発利用への技術展開、宇宙探査の成果の幅広い地上技術への浸透、そして、世界の宇宙探査の中核となる研究開発・人材育成の拠点形成 等です。



これらの目的を実現するために、異分野融合による科学技術イノベーションの創出や、宇宙探査技術と民生技術の相互連携、役職や年齢にとらわれない人材の登用 等を行います。

その結果として、新しいプレーヤー（大学・企業・研究機関等）の宇宙探査への参加、国際的な宇宙探査でのシナリオ・ミッションの実現、科学技術イノベーションの牽引による生活の質や産業競争力の向上、そして、将来を担う人材の継続的な育成 等を成果として目指します。

宇宙探査イノベーションハブで得られた技術・知見は、企業等の事業にフィードバックされることを考えています。このため、従来の知的財産管理や人事面を見直し、新しいパートナーが参画しやすい制度を整備します。

◆私たちの提案が、「JSTイノベーションハブ構築支援事業」に採択されました。

宇宙探査イノベーションハブの考える宇宙探査の実施の観点から、国立研究開発法人 科学技術振興機構(JST)のイノベーションハブ構築支援事業に応募し、平成27年6月「太陽系フロンティア開拓による人類の生存圏・活動領域拡大に向けたオープンイノベーションハブ」として採択されました。これにより、更に宇宙探査によるイノベーションが期待できる環境が整ってきました。

「本事業の概要：宇宙探査の進展により人類の生存圏・活動領域を拡大することは、新たな宇宙開発利用の価値創出に繋がります。今後10～20年の宇宙探査は、民間企業を含む多様なプレーヤーが参画し、国際協働・競争による月・火星への探査に向けた活動を中心に進められようとしています。」

— JAXAプレスリリース6月11日より 抜粋 —



◆ハブ長から一言

宇宙探査イノベーションハブ ハブ長の國中 均(くになかひとし)です。

私たちは、新しい参加者と共に、宇宙開発利用のための技術研究開発を目指します。ここで生まれる技術は、宇宙探査のみならず、地上技術へ応用展開され、ゲーム・チェンジ（現状を打破し、根本的にものごとを変えること）を巻き起こすことでしょう。ぜひ、みなさんと一緒に、宇宙探査イノベーションハブで、新しい仕組みを活用して、宇宙探査と日々の暮らしを発展させましょう！

◆もっと詳しく知りたい人のために

- JAXAプレスリリース6月11日：
http://www.jaxa.jp/press/2015/06/20150611_ihub_j.html
- JSTイノベーションハブ構築支援事業の詳細：
<http://www.jst.go.jp/ihub/index.html>